

【参考資料】

○「第2期羽曳野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 ～デジタル田園都市国家構想の実現に向けて～（素案）」に関するパブリックコメント実施結果

(1) 募集期間：令和5年1月17日（火）～2月16日（木）

(2) 意見数：1件

(3) 提出のあった意見及び市の考え方

番号	意見	市の考え方
1	<p>羽曳野で結婚・出産・子育ての希望をかなえる」の数値目標において、「子育てを楽しめる市民の割合」という指標が用いられていますが、子育てを楽しめるかは社会情勢だけでなく個々の家庭状況や個人の考え方・感じ方にも影響されるものであり、必ずしも市政の効果を反映した指標だとは思えません。</p> <p>素案の8ページにあるように、子どもを安心して産み、健やかに育てられる環境整備を目標とするのであれば、「羽曳野市で子育てをしやすいと感じるか？」や「羽曳野市の子育て支援は他市町村と比較して充実していると感じるか？」などの市政に言及する具体的な数値目標を掲げた方がよいのではないのでしょうか。</p>	<p>指標の設定につきましては、整合性を図る観点から、それぞれの項目に応じて関連する計画書のアンケート結果や事業実績から引用することとしており、ご意見いただいた数値目標では、「羽曳野市子ども・子育て支援事業計画」のアンケート結果を基に項目設定を行ったものとなっております。</p> <p>本市におきましては、現在の指標が当該項目の主旨に最も沿った情報であるとの認識から、本戦略の指標としていますが、いただいた意見については、貴重なご意見として参考とさせていただきます。</p>